

秋葉原生まれ、 秋葉原育ち。

秋葉原は人が住む街です。そして、そこで生まれ育つ子供達があります。もちろん、その子供達を育てる親もおり、子供達は地域によって^{はぐく}育まれます。

秋葉原に住むあなたが子供を産み、育てるのであれば、あなたの子供にとって秋葉原は^{ふるさと}故郷となるのです。



2004年7月千代田区外神田三丁目

秋葉に住む

LIVING IN AKIHABARA 2008.08 VOL.08

TABLE OF CONTENTS

- 2 2004年7月 千代田区外神田三丁目
特集
- 4 秋葉原で子育て
8 秋葉原で子育てをしているご夫婦にインタビュー
10 秋葉原子育て関連施設 MAP
- 秋葉に、帰ろう。
- 16 秋葉原終電案内 2008年7月平日版
- 18 秋葉原再開発
- 26 秋葉の私室
- 30 分譲・仲介物件ガイド
32 新築分譲物件
32 新築分譲物件（竣工済）
34 中古（仲介）物件
38 仲介一戸建て
- 40 賃貸物件ガイド
42 2008年竣工の新築物件特集
45 その他特選物件
- 47 主要参考文献・主要参考 WWW サイト
48 編集後記・奥付
- コラム
12 万世橋ルネッサンスII
14 番外編：永田町に住む
25 番外編：有明に住む
- エッセイ
15 秋葉（以外）で子育て！ … 美素・オードリー
39 「69号室は空いていますか？」視聴記
… TTT 住民 SK
46 秋葉原で恋しよう … まつだいら

おことわり

本書の内容は個人的な興味による調査に基づいており、100%の正確さを保証するものではありません。入稿時点（2008年7月下旬）で判明している可能な限り最新の情報となるようにしておりますが、入稿後の状況の変化も起こり得ます。賃料・物件価格につきましては参考として掲載しておりますが、この賃料・価格を保証するものではありません。内容の事実関係につきましては必要に応じ公式な情報をご確認願います。本書の利用により損害を受けた場合にも、発行サークル及び執筆者は一切の責任を負わないものとします。

本書の執筆者は秋葉原の一住人であり、千代田等各区役所、東京都庁、不動産業者、不動産情報提供者等とは関係ありません。本書の内容につきましては上記機関、各町会、TMO、及びマンション管理組合との直接の関係は一切ありません。

特集 秋葉原で子育て

秋葉原で子育て、どいうのはなかなかイ
ズルが沸きにくいところはあるかもしれ
ません。それでも居住している人々がいる
以上、当然のことながら子供が居住してい
て、そしてその子供達を育てる親もいるわ
けです。

今回は特集として『秋葉原で子育て』に
ついて紹介していきます。

横浜市と千代田区の子育て支援比較

	横浜市	千代田区
未就学児数	195,898人 (08年4月現在)	2,185人 (08年6月現在)
妊婦検診	検診総額から4700円分を引く補助券が5枚	「妊婦健康診査受診票」5枚と「妊婦超音波検査受診票」1枚
乳児検診	0歳児医療機関検診3回。4カ月、1歳半、3歳児検診	6～7カ月、8～9カ月医療機関検診3～4カ月、1歳半、3歳児検診
乳幼児医療費助成	通院、入院ともに0歳児は自己負担なし。通院は1歳～小学校就学前まで一部自己負担(所得制限あり) 入院は中学校卒業時まで一部自己負担(所得制限あり)	通院、入院とも中学校卒業時まで自己負担なし(所得制限なし)
児童手当	小学校6年生まで(所得制限あり)	妊婦5カ月から高校卒業まで(所得制限あり)
児童館	0	4
幼稚園	公立0 私立292	公立7 私立4
保育園	公立認可106 認証128 私立認可296 認可外224 待機児童707 未就学児に占める認可保育園の定員数18.2%	公立認可5 認証4 私立認可1 認可外1 待機児童0 未就学児に占める認可保育園の定員数27.3%
独自の手当		次世代育成手当 →妊娠5カ月から10カ月まで月額5000円、0歳児から18歳まで第1子、第2子月額5000円、第3子以降10000円(12ページ参照)

AERA2008年7月7日号「産めない国ニッポン」より

■都心であること

秋葉原といえば電気街そしてオタクの街というイメージが一般的で、そもそもそこに居住するという事ですから一般にはイメージしにくいのですが(そこに目を付けたのがこの「秋葉に住む」であると云えます)、更にはここで子供を育てる、あるいはここで子供が育てられる、とい

う事になると、かなり想像しにくい事であるかもしれません。実際のところ、筆者が居住しているマンションでも子供はあまり見掛けません。しかしながら、外神田三丁目のど真ん中には「昌平童夢館」があり、ここには保育園、小学校、児童館、まちかど図書館などが入っています。このことから

秋葉原にも子供が居住しており、そして子供を育てている親が存在するという事が認識させられます。

「都心は子育てをする環境ではない」「子供は緑豊かな所で育てたい」という考えの方も少なくないと思います。それでも、都心部で子育てをするメリット/デメリットがあり、秋葉原で子育てをするメリット/デメリットもある訳です。

都心部に居住し、子育てをするメリットは、何と言ってもその利便性にあると言えるでしょう。都心部に勤務する共働きでかつ子供がいる夫婦、いわゆるDINKs(Double Incomes With Kids)であれば、郊外ではなく都心部に居住し子供を育てるメリットを最大限享受出来ることでしょうか。すなわち、子供を保育園に預けるための送り迎えの時間が短くて済む、子供が急に病気になった場合などにも対応しやすい、などといった事が挙げられます。秋葉原に居住する場合、勤務先が大手町であればタクシィでワンメーター程度で職場と自宅、あるいは保育園とを往来することが可能です。

■自治体による子育て支援策

都心部の中でも秋葉原に居住しここで子育てをする最大のメリットは、秋葉原の中心部である外神田が千代田区であるという事にあります。千代田区では人口減少・少子化対策として様々な子育て支援策を行っています。千代田区は企業などが多い割には居住者は極端に少ないため、このような手厚い住民サービスが可能となっています。上の表は週刊

秋葉原周辺各区+港区の子育て支援サービス比較

	千代田区	台東区	文京区	中央区	港区
人口(2007.1.1現在)	44,594	161,577	183,491	102,431	185,610
若年人口(0-14歳)(2007.1.1現在)	4,900	15,434	18,984	10,606	19,024
区立保育園数	6	13	20	12	15
私立保育園数	0	8	6	3	5
待機児童数	0	26	48	49	139
延長保育実施園数	6	19	26	4	20
最大延長時間	20:15	22:00	19:15	19:30	22:00
小学校選択	なし	なし	なし	なし	隣接
中学校選択	全域	全域	全域	全域	全域
学童保育名称	学童クラブ	こどもクラブ	育成室	学童クラブ	学童クラブ
学童保育設置数	9	17	25	7	15
学童保育年限	小学生	3年生	3年生	4年生	3年生